

『小樽商科大学史紀要』の創刊に寄せて

学長

秋 山 義 昭

1911年に5番目の官立高等商業学校として開校した本学は、4年後に100周年を迎えることとなりました。1世紀にわたり築き上げられてきた本学の歴史の重みと伝統をつくづく感じないわけにはいきません。

2001年に迎えた90周年事業の一環として発行された『小樽高商の人々』（小樽高商史研究会編）には、高商創立時からの歴代校長、「高商アカデミズム」の基礎を築いた著名な経済学者、外国人教師、多彩な卒業生等が紹介され、小樽高商が培ってきた校風が浮き彫りにされています。

また、戦中の悲惨な戦争体験を経て、大学昇格を果たした戦後も、幾多の困難に直面しながら、研究・教育の充実に努め、社会に開かれた個性あふれる大学として着実に発展を遂げてまいりました。

100周年を迎えようとする今こそが、まさに、本学の過去の経験と歴史に学び、これからの方向性をもう一度しっかり見据える最良の時期とも言えましょう。

このたび、『小樽商科大学史紀要』が創刊されたことは、その意味で、本学の歴史にまた新しいページを加えることになるものと思われまます。

この紀要が、次の時代につながる貴重な知の蓄積となりますよう、皆様のご理解とご協力を切にお願いする次第です。